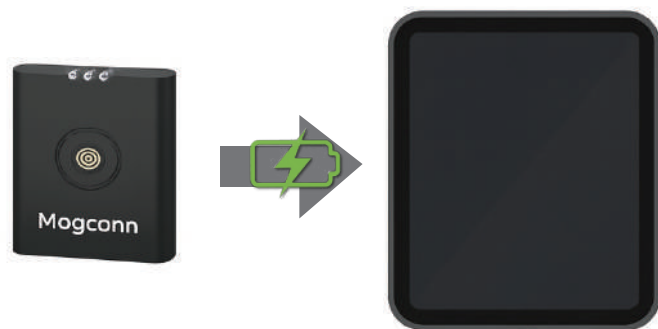
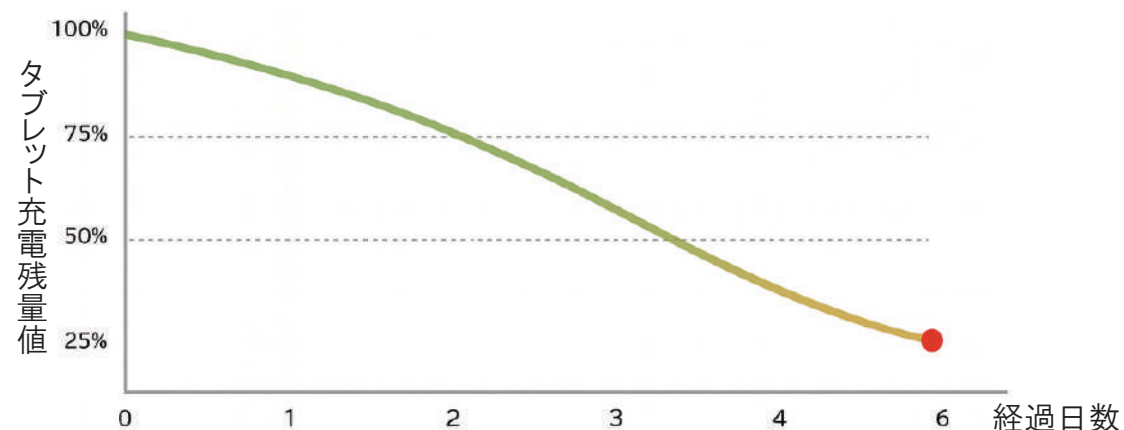


タブレットの給電をバッテリーパックのみで行う運用の場合

タブレットのバッテリーの消費量が充電量よりも多いと、バッテリーパックの充電が消費に追いつかず、日に日にタブレット本体の充電残量が少なくなっていく。



充電<消費



※タブレットの残量を確認した際に、前日や数日前より残量が減っているのに、タブレットが充電されていないと感じる原因かもしれません

解決策①

夜間にタブレットを回収し、タブレット自体はケーブルで充電する。

バッテリーパックは従来通り専用充電器にて充電。



解決策②

バッテリーパックを増やす。

タブレット1台につき、バッテリーパック 2～3 個を交代でタブレットを充電する。



その他の対策

使用中のタブレット画面の輝度設定を低くしてバッテリーの消費を抑える。

閉店後はタブレット画面をスリープモードにして、使用していない時のバッテリーの消費を抑える。